

政策名	3夢のふくらむ港		責任者	港営部 港営課長	連携担当課
基本施策名	04うるおいと魅力のある港湾空間の形成				
個別施策名	12快適な港湾空間を形成する		連絡先	052-654-7871	
事務事業名	04港湾福利厚生施設の管理				

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	港湾福利厚生施設を管理し、港湾労働者、船舶乗組員の快適な労働環境の形成を図ります。	事業期間	昭和43年度～継続
概要	港湾福利厚生施設となる港湾労働者福祉センター、岸壁休憩所は本組合が所有しているが、運営は(財)名古屋港湾福利厚生協会に委託しています。運営方法、施設の修繕、必要棟数等については、同協会及び関係者と調整し、快適な港湾労働環境の形成を図ります。	根拠法令・要綱等	港湾法、港湾労働法
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	21年度は、7号岸壁休憩所の案内看板を設置しました。 22年度も引き続き施設の修繕などを行い、快適な港湾労働環境の形成を図ります。						
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
港湾福利厚生施設数	単位	目標	18	18	18	18	港湾福利厚生施設の棟数や、配置を把握することで、快適な労働環境の形成を図る目安とします。
	棟	実績	15	16	16		
事業費	単位	目標					
		実績					
人員 正規職員	単位	千円	27,589	29,707	1,000	2,600	
		人	0.30	0.30	0.30	0.30	
嘱託職員	単位	千円	2,606	2,631	2,575	2,633	
		人	0.00	0.00	0.00	0.00	
人件費相当額							
事業費・人件費の合計							

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
港湾福利厚生施設の利用者数	単位	目標	140	140	140	140	港湾福利厚生施設の利用者数の推移を把握することで、必要な棟数や、配置を検証します。
	万人	実績	125	117	99		
	達成率(%)		89.3	83.6	70.7		
	単位	目標					
		実績					
達成率(%)							
観点	課題の有無	現状の「見える化」				その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	(有)・無				・福利厚生施設の整備、及び福利厚生事業の推進をもって、港湾作業能率の向上を図ります。	
	目的・水準の妥当性	有・(無)					
	利用者などの対象者ニーズ	(有)・無					
有効性	成果の達成度	有・(無)				・現在、5箇所の港湾労働者福祉センター、11箇所の岸壁休憩所で、食堂・売店、休憩所等の福利厚生施設が運営されており、日々躍進する名古屋港の労働環境を支えています。	
	内容の妥当性	有・(無)					
効率性	実施主体の妥当性	有・(無)				・利用者のニーズに応じた施設の運営、定期的な施設の保守・点検、修繕などを行いながら、効率的な施設の運営に努めます。	
	受益者負担の適正性	(有)・無					
	経済性	有・(無)					

### 4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」・「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			港湾労働者の良好な労働環境の確保は港湾管理者の責務であるため。
		維持		○	
		縮小			
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等	引き続き(財)名古屋港湾福利厚生協会と調整を図りながら、利用者のニーズに応じた施設の運営、定期的な施設の保守・点検、修繕などを行い、効率的な施設の運営に努めます				